

一般質問通告表

令和3年第4回始良市議会定例会（11月26日）

<p>1. 和田 里志</p>	<p>1. 行政が行う契約事務の適正な執行と議会の検査機能の充実について</p> <p>2. 市政1期目の総括と今後の対応について</p>	<p>(1) 行政が行う契約には多くの種類と形態がある。それら一連の契約事務は適正に行われているか、特に以下について問う。</p> <p>①公園等の維持管理に関する業務契約 ②市道・側溝（生活道路を含む）等の維持管理に関する業務契約 ③土木・建築・上下水道工事等の業務契約 ④財産の取得及び処分等に関する契約</p> <p>(2) 地方分権時代における市議会の在り方について、議会の議決・監視権の拡充を求める提言や契約等の透明性を高め、それらに係る事務の適正な執行に資することを目的とした条例を制定している事例もあるが、本市としての考え方を問う。</p> <p>公立大学法人の設置や子育て世代への支援強化など様々な公約を掲げスタートした湯元市政1期目、残り4か月足らずとなった。予想だにできなかったコロナ禍の影響により、中断や延期を余儀なくされた事業があるなど、これまでを振り返りどのように総括するか。また、今後についての考え方と問いについて問う。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長</p>
<p>2. 国生 卓</p>	<p>1. 新たな過疎計画について</p>	<p>今年の4月1日から改正「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が施行された。今回の改正で過疎指定要件も見直されたが、引き続き蒲生地区も過疎指定地域に指定された。</p>	<p>市長 教育長</p>

	<p>2. 不登校対策について</p>	<p>新過疎法の理念として、過疎地域の存続、都市部と過疎地域の共生推進、過疎地域における対流推進及び保全推進を掲げている。</p> <p>今回の、始良市の基本方針は、「都市部と蒲生地区との連携・交流及び道路整備など生活サービスの確保並びに公共交通等の課題に対し、地域特性に応じた施策を講じる。」とのことだが、どのような施策を考えているか。</p> <p>10月13日に、鹿児島県教育委員会は、令和2年度児童・生徒の問題行動・不登校調査の結果を公表した。不登校は2年連続増加し、児童・生徒全体に占める割合は、1.86%であり、「コロナ禍による生活環境の変化により生活リズムが乱れやすい状況や学校生活において様々な制限がある中で交友関係を築くなど、登校意欲がわきにくい状況が生まれた。」と分析している。この問題は教育課題であり社会的問題でもあると思う。</p> <p>そこで、以下について問う。</p> <p>(1) 不登校問題を解決するために、日頃より教育委員会、学校、保護者との連携した防止対策の取組について問う。</p> <p>(2) 不登校児童・生徒を支援するスクーリング・サポート事業を活用した成果と今後の課題を問う。</p>	<p>市長 教育長</p>
--	---------------------	--	-------------------